

【児童舞踊部 講評】

■児童舞踊ならではの異年齢を生かした作品も多くあり、楽しみました。それぞれに、伝えたい、表したいイメージを追求することで、オリジナリティある動きが生み出されました。また、道具を上手く利用して空間を縦にも横にも効果的に広げていた作品もあり目を引きました。出演の皆さん、自分の作品が大好きで心をこめて踊っていることが伝わり、感動をいただきました。

■児童舞踊らしい作品の数々に心が打たれました。限られた時間の中で起承転結があり、又テーマを子供達がしっかり理解し表現できている作品に感動しました！！

■児童舞踊部門ならではの作品を多く見る事ができた。年々、子供達の技術の向上により、作品の展開、構成等、工夫されていた。今後は年齢差もある為、独創性のある作品が求められるかもしれない。

■まずは、出品される先生方に心より敬意をはらいたいと思います。児童舞踊部は、踊りの技術だけでなく表現力、作品の構成力、テーマが明確で踊り手も観る人も理解できて感動できるものが求められます。この大きな課題に立ち向かわれることは、想像し得ないほどのエネルギーが必要であり、生徒の皆さんの学びの場となるよう取り組まれていることは素晴らしいことです。出演者の皆様には賞の受賞だけに一喜一憂せず、取り組む過程、創り上げるプロセスに価値を見い出して頂きたいと思います。どの作品も素晴らしかったです。心より感謝申し上げます。

■児童舞踊は当然ながら1つの芸術分野で、個々の出演者は長い将来があるにしても、児童舞踊家としては、まさに今が大切な時期。つまり大人でなく、「児童」舞踊家としての特性が重要であり、作品もスタイルにこだわる必要はありませんが児童の特性を生かしたものが望まれます。もちろん皆さんこれを心得ていますが、今回の一般の理解を得るために、あえて書きました。ただ、作品である以上、メッセージ（たとえば「タイトル」に表現されたもの）を明確にすることが必要で、この点をもう少し具体的に伝えるための工夫が、望まれるものも1部にありました。

■厳しい現実の中で諦めることなく、ダンスの世界に子どもたちを導いておられる先生方に敬意を表します。今年も目の前の子どもたちの個性や特性をとらえ、いろいろな工夫や演出（振付・音楽・衣裳・小道具他）を試みながら、踊り手の子どもたちと一緒に作品を完成されたことでしょう。作品と踊りの技術レベルが一段と高まっており感心しました。その中でも高い評価を得た作品は、最初から最後までテーマを貫いた構成・振付を子供たちが心と体で踊り切り、作品の中で輝き躍動していました。客席にいる私の心と体も踊り出しそうなエネルギーをもらいました。ダンスの力ですね。来年も期待しております。